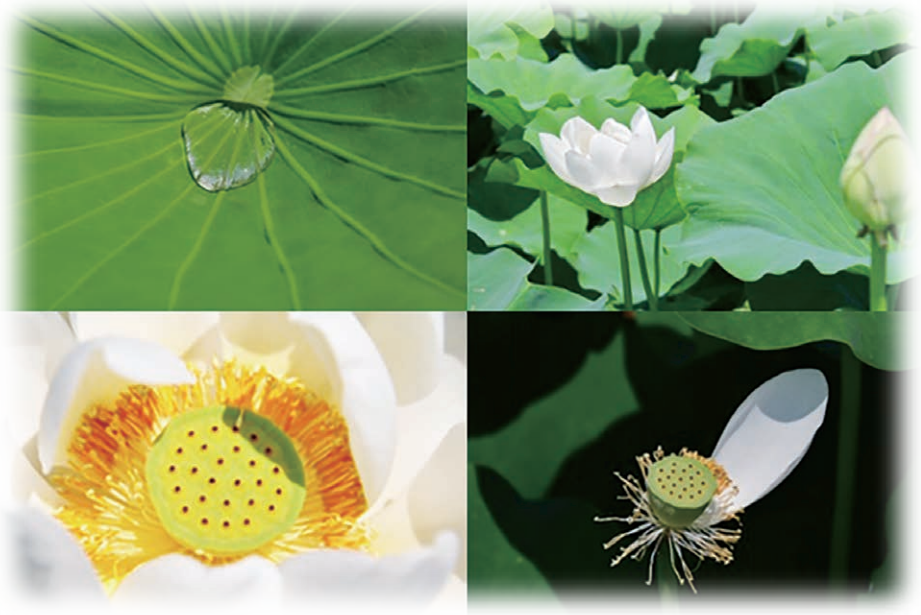
Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

# 土浦南ロータリークラブ 週報



会長 福田 昭一　幹事 髙野 竜也
■ 例 会 場　L'AUBE kasumigaura TEL.029-875-8888
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-south-rc.com
■ Eメール　t_minami@lapis.plala.or.jp

2021～2022年度
国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 年 8 月　4 号

## 2021 年 7 月 27 日　第 4 例会報告

地区 HP　地区行事予定

1．点　　鐘　福田昭一会長
2．ロータリーソング（音楽のみ黙唱）
「奉仕の理想」
3．幹事報告　髙野竜也幹事
4．委員会報告
5．ニコニコＢＯＸの発表　井坂雄祐副ＳＡＡ
6．クラブ協議会　髙野竜也幹事
社会奉仕・ロータリー財団研究会報告
社会奉仕委員会
白井秀治委員長
地区社会奉仕・地区補助金担当
髙橋信子会員
ロータリー財団委員会
稲本修一委員長
7．出席状況報告　出席委員会
8．点　　鐘（点鐘のみ）　福田昭一会長

（司会進行　説田賢哉ＳＡＡ）

**次回例会のプログラム**
2020-21 年度決算，2021-22 年度予算についての全員協議会です。

**次の例会プログラム**
地区研究会報告になります。

## 出席状況

| 会員数 | 出席数 | 出席免除 | 出席率 | 全員出席卓 | 3名以上欠席卓 | メークアップ | 出席訂正率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名 | 名 | 名 | % | 卓 | 卓 | 名 | % |
| 86 | 56 | 6 | 66.67 | 2・5・10<br>11・15 | 6・7・9・18 | 2 | 69.05 |

## 【委員会報告】

### ゴルフ同好会　　吉　田　正　一　ゴルフ同好会幹事

8 月 25 日のコンペのご案内です。皆様のご参加お待ちしております。場所はサミットゴルフクラブです。8 月 10 日の例会で締め切りとなりますので宜しくお願い致します。

### ローターアクト委員会　　片　岡　　哲　委員長

新体制になりまして例会を再開することが出来るようになりました。

7 月 29 日（木）20：30 ～生涯学習センターにて第 1 回目の例会を開催しますので奮っての参加を宜しくお願い致します。

### 環境保全委員会　　完　賀　浩　光　委員長

先程 髙野幹事からも案内がありましたが担当委員会からもお願い致します。

本日案内をさせて頂きました「茨城海岸美化プロジェクト」へのご協力を宜しくお願い致します。子ども達の参加も可能ですので，是非ご検討頂きますよう宜しくお願いします。

## 【米山記念奨学生 ８月分奨学金授与】

8/10（火），米山記念奨学生 ファイルズ アルフィラ サイダ サルサビラさんに奨学金授与

## 【入会式】

戸谷聰子（とやとしこ）

| | |
|---|---|
| 生年月日 | 1946 年 10 月 26 日 |
| 事業所名 | ㈻筑波学園 |
| 役職名 | 理事長 |
| 所在地 | 土浦市湖北 2-10-35 |
| 推薦人 | 稲本修一会員，福田昭一会員 |
| 職業分類 | 専修学校 |
| 所属委員会 | ロータリー財団委員会 |

皆様こんにちは。

この度，つくばシティロータリークラブから土浦南ロータリークラブに移籍させて頂きました。

つくばシティロータリークラブでは，創立時から27年間在籍いたしまして，地区委員として約10年間青少年奉仕委員会で活動することが出来ました。その折，福田会長さんや，稲本さんに大変お世話になりました。

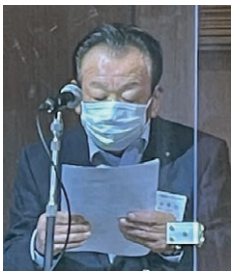
私の職業分類は専修学校で，例会場のローブさんから歩いて5分のアール医療福祉専門学校の学校長・理事長をいたしております。これからは，なるべく後継者に仕事を任せてロータリーライフを楽しみたいと思います。

本日，入会式をして頂きありがとうございました。土浦南ロータリークラブの一員として，まだ何もわかりませんので皆様からいろいろ教えて頂きたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（8月26日，L'AUBEにて）

## 【社会奉仕・ロータリー財団合同研究会報告】

### 社会奉仕委員会　　白　井　秀　治　委員長



皆さんこんにちは，先日7月17日(土)に下館ダイヤモンドホールに於いて2021-2022年度社会奉仕・ロータリー財団委員会合同研究会が開催。私はオンラインで事務局にて参加いたしました。始めに，ガバナー新井和雄さん続いて社会奉仕委員会担当カウンセラーの藤居彰一さん，ロータリー財団委員会総括委員長保延輝文さん，社会奉仕委員会総括委員長白戸里美さんの方々の挨拶の後，研究会が始まりました。

2021-22年度最大のプロジェクトは「2021茨城海岸美化プロジェクト」でございます。

このプロジェクトの提唱は池田正純パストガバナー，新井和雄ガバナーであります。

2021年9月12日にロータリー奉仕ディとして2820地区のロータリアン全員で茨城の海岸清掃を行います。55クラブ100％登録です。実施日は2021年9月12日(日)，予備日に9月26日(日)，運営は地区環境保全プロジェクト実行委員会，実行は2820地区55クラブ全会員です。

詳細について，社会奉仕委員会，地区補助金事業担当の髙橋信子さんに説明をして頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

## 地区社会奉仕・地区補助金担当　　髙　橋　信　子　会員

私は昨年まで４年間，財団で地区補助金を担当しておりましたが，今期から社会奉仕委員会で地区補助金担当という事になりました。昨年度の池田パストガバナー，今年度の新井ガバナーの提唱により３年間引き続いて海岸清掃活動を行うという事になりました。地区の全クラブ55クラブが参加します。

そして，地区だけの事業にとどまらない事になり，日本全体の30地区が同じ日に海岸清掃活動を行います。合わせて世界中で70地区が９月12日「アースデー」に海岸清掃をするという非常に大きなプロジェクトになりましたので，皆様の多数のご参加をお願いしたいと思います。

一番の目的は，これによって皆様方の環境意識，知識，行動を変えていただくことが一番重大なプロジェクトの目的になっています。マイクロプラスチックが問題になっていますが，例えば３ｍｍのミジンコの体の中にも非常に小さなマイクロプラスチックが入り込むという状態なのです。当然それを魚が食べる，そして最終的に人間も食べていくことになります。プラスチックは分解されません。ですから最初の段階で皆様がプラスチックを削減していく，自然の中にプラスチックを放置しないことが一番重要な形になります。

ロータリーファミリー（お子様とか）他，いろいろな方々にお声を掛けて頂いて一緒に行いたいと思いますので，どうぞ宜しくお願い致します。

## ロータリー財団委員会　　稲　本　修　一　委員長

去る７月17日ダイヤモンドホールにてハイブリッド形式で社会奉仕委員会との合同という形で研究会が行われ，私はＺＯＯＭで参加しました。

まず最初に新井ガバナー年度の方針が発表されました。

ガバナーの方針は次の通りです。

１．地区補助金を活用した地域社会への貢献

２．グローバル補助金を活用した国際社会への貢献

３．奨学生の支援

４．ポリオ根絶活動の推進

５．公平性の高い財団寄付の推進（年次寄付130ドル・ポリオ20ドルの達成）

６．ベネファクター各クラブ１名，ＰＨＦ，ＰＨＳ（ポールハリスソサェテイ・毎年1000ドル寄付），ＭＤ（メジャードナー・１万ドル寄付），ＡＫＳ（アーチクランプソサティ・

25万ドル寄付）の推進，因みに土浦南はＰＨＳが７名（清野弘・片岡信彦・鈴木明夫・高橋信子・海老原一郎・今泉孝之・高野竜也の諸氏）地区全体では70名だそうで，土浦南が10％を占めています。

またＭＤ（１万ドル寄付）は片岡信彦さんが認証されております。

以上が新井ガバナーの年度方針です。

続いて，地区財団委員会の重点項目が発表されました。

１．地区補助金事業の充実とスムーズな運営（ＤＤＦ）

ＤＤＦ（グローバル補助金）の活用範囲は，・平和と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展，それに今年度から追加された環境の保全があります。

ＤＤＦ（地区補助金）は地区での奉仕事業に事業費の35％が支給されるようです。

ご存知のことと思いますが，ＤＤＦ（地区財団活動資金）は３年前の高橋ガバナー年度の年次寄付金の半額ということですが，申請済みの案件もあるので現在使用できるのは７～８万ドルだそうです。

２．地区環境保全プロジェクトのサポート

これは，池田年度からの継続事業である茨城海岸美化プロジェクトに地区補助金が用いられます。

３．財団寄付目標の達成のための財団出前卓話の活用推進

４．公平性の高い財団寄付の推進（寄付額あるいは高いパーセンテージのクラブは比較的多くの財団資金を活用出来る）

続いて，グローバル補助金について

グローバル補助金に対するＷＦ（ワールドファンド・国際財団活動資金）からの上乗せは従来ですと100％でしたが，コロナの世界的拡大による国際財団活動資金の枯渇によって80％に引き下げられた，ということです。

次に財団奨学生の現状が報告されました。グローバル補助金を活用しての奨学金でアメリカの大学に留学予定だった芝田共宏君はコロナのために渡米できずオンライン授業を受けているとのことです。8月には渡米出来るかもということです。

ポリオプラスについて

ご存知のとおり日本では小児マヒですが，パキスタンとアフガニスタンで昨年は140人の罹患者でしたが，今年の１月から３月初旬で２名だそうです。あと少しだそうです。

ＶＴＴについて

　ＶＴＴとは，職業研修チームのことで，専門職業人グループが海外でスキルや知識を学んだり提供するプログラムですが，2014 年に笠間市にある東京大学大学院附属の牧場の東京大学教授ら 5 名をタイに派遣し人工授精の技術を伝授したのが 2820 地区の唯一の実施例だそうです。

最後に，グローバル補助金プロジェクトの醍醐味

・大規模な国際的活動に参加することによってダイナミズムを実感できる。

・地域社会のニーズに応える

・世界規模の連帯と友情の輪を広げる

ロータリー財団を設立したアーチクランプのことば，「世界で良いことをしよう」の具現化がロータリーのプロジェクトの醍醐味である，と締めくくりました。

　以上で報告を終わります。